

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第2期終了時には、全国の盲学校に医療マッサージ指導者が誕生する。 ・ 訓練を受けた視覚障害者の医療マッサージ師が一般社会に進出し、社会的・経済的自立を果たす。 ・ 本年度の指導実習を基に各盲学校の現状にあった指導カリキュラム、教科書表記を見直し、第3期事業終了時には全国で統一した標準指導カリキュラムを完成する。
(2) 事業内容	<p>(イ) 昨年度1年目を終了した時点で1期生(2年生)は12名であったが、1名が一身上の都合により退学したので、現在、8校の11名が在籍している。</p> <p>(ロ) 全国8校の盲学校より2期生(1年生)12名の選考を試みたが、地元の治安悪化のためメッチーナ盲学校が生徒を派遣できなかった。そのため他の7校から12名が入学した。しかし、そのうち1名が一身上の都合で退学したので、現在は11名がヤンゴンの訓練センターでトレーニングを受けている。前期を終了した時点で、特に成績に問題のある生徒はなく、良好な成績を収めている。</p> <p>(ハ)1期生のトレーニングは、母校で他の在校生にマッサージを指導する指導実習が中心である。前期を終了した時点で、10名は問題なく実習を行っているが、1名は講義形式の学科が苦手で、かつ人間関係をうまく築くことができず実習は出来ていないが、マッサージの講義、実技は引き続き行いマッサージ師としての成長を目指している。また、2ヶ月に一度、全員が集まり技術の確認として専門家から集中講義を受けている。これまで年4回計画されているうち3回を実施した。</p> <p>(ニ)訓練センターに属さない視覚障害者マッサージ師の知識と技術向上を図るため、全国セミナー1回と公開講座1回実施した。また、地方の視覚障害者に対して視覚障害者教育啓発を目的としたキャンペーンの準備をすすめている。</p> <p>(ホ)全国セミナーは日本から4名の医療マッサージの専門家を派遣し、全国から集まった視覚障害者マッサージ師に講義と技術指導を行った。公開講座では日本の専門家を1名地方へ派遣し、地方の視覚障害者マッサージ師に実技指導を行った。</p>
(3) 達成された効果	<p>(イ) 今までは指導カリキュラムはなかったが、昨年度に完成した指導カリキュラムが現地で採用され、それに基づく指導が行われている。これにより、統一した指導が行われ、生徒によく理解されている。</p> <p>(ロ) 現在、1期生は11名が在籍中である。1期生は1年間の訓練センターでのトレーニングを終え、母校に戻り指導実習を行っている。指導実習を通じてマッサージの指導を受けている盲学校生徒は1校2名～8名で、7校で計34名である。</p> <p>1期生のマッサージ技術は昨年に比べても大変上達してきている。これからも訓練を行い、指導者として成長が期待される。また、解剖学や生理学の講義は難易度が高く、指導している1期生も大変ではあるが、実習を受けている盲学校の生徒は、マッサージの実技に大変興味をもって意欲的に取り組んでいる。</p>

	<p>(ハ)4名の専門家を日本より派遣した今年1回目の全国セミナーでは、79名の参加者がマッサージ教育の講演を受講し、マッサージの実技指導を受けた。また1名の専門家を派遣した4日間の公開講座では、20名の受講生が実技指導を受けた。多くの参加者は普段マッサージの指導を受けることがないので、日本の専門家から直接指導を受けられ、学んだ技術が仕事に活かされると好評であった。</p> <p>(ニ)全国8校の盲学校のうち、チンミンダイ、カワイジャン、ザガイン盲学校3校では地域住民に対して医療マッサージを安価な価格で提供している。これらのマッサージ室の来客数は5ヶ月間(6月～10月)で計7,458名、1ヶ月平均1,492名であった。医療マッサージはリラクゼーションマッサージとは異なり、身体状態が改善し、効果が感じられると利用者の評判はよい。</p>
<p>(4) 今後の見通し</p>	<p>(イ)1期生のトレーニングは、後期も引き続き指導実習を12月まで継続し、集中講義を1回行う。指導実習修了後は、卒業研究を実施し、卒業前に発表会を開催する。トレーニングを終了し、3月に卒業式を行い指導者として母校に帰る予定である。</p> <p>(ロ)2期生のトレーニングは、後期も引き続き訓練センターで継続し、来年の指導実習に備えている。</p> <p>(ハ)一般の視覚障害者マッサージ師に対しては、専門家1名を派遣し、全国セミナーを開催する。また、2名の専門家を派遣し、公開講座を2回開催する。当初、地方開催を予定していたが、参加者を多く集めるために残り2回の公開講座はヤンゴンで開催する予定である。</p> <p>(ニ)政府機関への手続きに時間がかかり、前期に実施できなかったキャンペーンをザガイン管区内の2箇所にて実施予定である。</p> <p>(ホ)現在、建設中のパコック盲学校のマッサージ施設が12月中に完成予定であり、完成後、オープニングセレモニーを行う。</p> <p>(ヘ)本事業3期目終了時に完成させる、盲学校での標準医療マッサージカリキュラムと訓練センターでの指導カリキュラムを作成する。</p> <p>(ト)本事業3期目終了時に完成させる、視覚障害者医療マッサージ専門教科書を点字で作成し、ミャンマー語、英語、日本語にも翻訳する。</p> <p>(チ)3期目には、ヤンゴン市内に社会福祉省の施設内に中心となる訓練センターを建築する。</p>